

令和7年10月30日

鳥取県知事 平井 伸治 様

鳥取県議会民主とっとり
会長 興治 英夫

12月補正予算編成等に当たっての要望事項について

令和7年度12月補正予算編成等に対して別紙のとおり要望しますので、予算編成及び今後の県政運営にあたり格段の御配慮をお願いします。

1 障がい児・者支援について

改正後の障害者総合支援法に沿って障がい者の重度化、高齢化、親亡き後を見据え、緊急時の対応や施設や病院からの地域移行の推進に向けて、次の対策を講じること。

- (1) 個別支援計画をより充実させる上で安心サポートファイルの活用の徹底を目指すこと。
- (2) 親亡き後の障がい児・者対応グループホームの場として公営住宅の活用を拡大すること。
- (3) 県下3療育園の現場の人員不足感に対し、充足に向け積極的な取り組みをすること。

2 障害福祉サービス事業所における外国人材受入支援について

障害福祉サービス事業所の人材不足に鑑み、介護事業所と同様に、外国人材の確保・定着に向けた受入支援を講じること。

3 オーバードーズ対策について

子どもや若者・女性等の間で拡大の懸念があるオーバードーズ（一般用医薬品の乱用）の対策強化を行うこと。

4 トイレの盗撮防止対策について

トイレの盗撮問題は子ども、女性はもちろん県民全般に不安を与えるため、県の公共施設（学校、体育、文化、福祉施設等）のトイレの点検を行うとともに、防止対策をとること。

5 私立高校無償化の影響を踏まえた対応について

現在、国において令和8年度からの私立高校等の加算額の引き上げを含めたいわゆる「高校授業料の無償化」が検討されている。この制度設計の詳細が明らかとなった際には、その内容や県財政への影響を踏まえつつ、現在、県が行っている私立高校の授業料支援（本県独自の上乘せ支援）や運営費補助金については、県民の理解が得られるように適切に見直すとともに、公立高校の魅力化や環境整備に係る予算を拡充するなど、私立高校・公立高校の双方がともに多様で質の高い教育環境を提供できるよう、必要な措置を講ずること。

6 農業生産拡大に向けたスマート農業の推進について

水田農業や園芸品目農家の作業効率化等、経営発展に繋がっているスマート農業技術の導入を推進するための県補助金について、現状では、同一事業者につき、1回限りの補助制度となっている。スマート農業の社会実装を一層推進し、更なる農業生産拡大を図るため、既に補助制度を利用した者であっても、新たなスマート農業機械等の導入を行う場合は補助対象となるよう、補助制度の拡充を図ること。

7 米の集荷状況調査について

米の県内の適正価格流通と流通量の確保を目指す必要がある。そのため、卸業者がスポット取引に頼らざるを得ない状況が生まれないよう、県内の集荷業者の今年産米の集荷状況について調査すること。

8 米のフェアプライス取引の推進について

米価が急激な値動きをする中で、来年産米について供給過多の場合でも適正な価格水準で販売し、農家が安定的に営農継続できるよう米のフェアプライス取引について、一層推進すること。

9 酒蔵の原料米高騰対策について

県産酒米価格が昨年に比べて1.6倍以上に高騰している中、県内の消費動向から小規模事業者であるため柔軟な価格転嫁が難しい県内の酒蔵に対し、良質な地酒を求めやすい価格で継続して県民に提供できるよう、価格高騰部分に対する支援も含めて支援策を拡充すること。

10 米子境港間の高規格道路の沿線住民・事業者等意見の公表について

米子境港間の高規格道路について、沿線の住民や事業者等に意見聴取が行われたところ。国土交通省と連携し、これらの住民意見について速やかに公表し、今後の適切なルート選定に資するものとする。

11 買物環境の確保及び燃料供給体制の構築に向けて

本県では、J A系スーパーの一斉撤退後、市町村と連携し、買物環境の維持・確保に向けた支援が実施されているが、鳥取市佐治町においては、十分な対策が講じられたとは言い難く、また、給油所も撤退し、地域住民は大変不便な生活を強いられている。地域住民の生活が脅かされることが無いよう、鳥取市と連携し、地域の実情に沿った買物環境の確保及び燃料供給体制の構築に向けて適切な対策を検討すること。

12 日野高校の魅力化に向けた具体的な方策の提示について

学級減を決定した日野高校について、その魅力となっている実質的な少人数学級や総合学科による教科選択が失われる恐れがある。未だに教員確保や教科数確保に向けた具体策が示されていないため、早期に方策を示し、今後の安定した生徒募集に繋げること。